



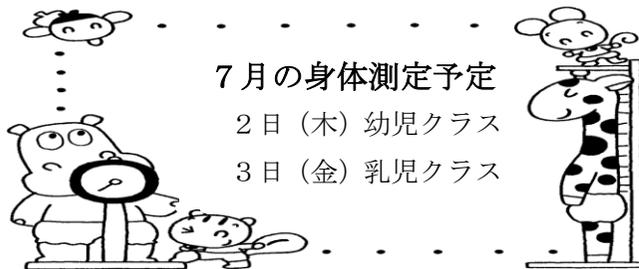
ほけんだより 7月

令和2年度
あゆみ保育園
園長 江郷 勝哉
看護師 高瀬 浩子

暑い日が多くなってきました。「新型コロナウイルス」の対策をしつつ、夏に流行する感染症にも気をつける必要があります。また、保育園では、「熱中症」にも十分気を付けて対策をしながら保育をしております。栄養・休息・睡眠をしっかりとして、夏を乗り切っていけるように頑張りましょう！



<先月の感染症 (5月20日～6月20日)>
手足口病 乳児クラス 1名



7月の身体測定予定
2日(木) 幼児クラス
3日(金) 乳児クラス

以前お手紙でお知らせしましたが、「新型コロナウイルス」の影響で登園自粛要請期間が延長されたため、「春の健康診断」と「歯科検診」は下記の日程に変更になりました。

<春の健康診断>

7月1日(水) <14:00～>行います。当日は出来るだけお休みをしないよう、ご協力をお願いします。

<歯科検診>

7月8日(水) <9:00～>行います。

★以下の御協力、宜しくお願い致します。

- 1、当日は朝食の後、必ず「歯みがき」をして下さい。
- 2、乳児クラスは、9時より検診が始まりますので、8時45分までに登園して下さい。
- 3、当日はお休みしないようお願い致します。お休みした場合、後日、各個人で歯科検診に行って頂くこととなります。
- 4、検診の結果、「治療が必要」と診断された場合は、すみやかに歯科を受診して下さい。



～プールについて～

7月6日(月)からプールが始まります。今年は「新型コロナウイルス」に注意しなければならないので、元気に楽しくあそべるよう、毎朝の体温・体調チェックをして下さい。登降園簿を用意しますので、登園時に必ず入水の有無を記入して下さい。「○」の記入と、「体温」の記入がない場合はプールに入れませんのでご注意ください。また、少しでも健康面で心配な点がある場合は、看護師又は担任にご相談ください。

プールに入れる？ 入れない？

症状が治まった後もウイルスが排泄される病気があり、元気に見えても注意が必要です。プールに入る際の注意点をあげましたので、目安にしてください。なお、判断に迷う場合は、看護師にご相談下さい。

プール入れる

水いぼ	○	プールはOK。ただ、炎症を起こしたり、「とびひ」のようにになっている場合は入れません。接触感染するので注意が必要。
しんしゅつせい 滲出性中耳炎	△	耳鼻科を受診し、相談を。症状が安定していればプールも可能なことがあるが、発熱や耳の痛みを訴える場合、プールは禁止。
アレルギー性鼻炎	○	ほかに症状がなければプールはOK。鼻をかんでから入る。
アレルギー性結膜炎	○	症状が落ち着いていれば、プールOK。プールから上がった後、よく目を洗浄。
頭ジラミの寄生	○	登園、プールは可能だが、髪の毛の接触で感染するので、早急に駆除するように。
手足口病	△	症状が軽快してからも、1か月くらいは、便やだ液からウイルスが排せつされる。ただ、一般的には症状が軽いことが多く、プールでの感染よりも日常生活で感染する機会のほうがずっと多いため、本人が元気で登園できるなら、プールもOK。皮膚の状態次第。
ヘルパンギーナ	△	回復してからも約1か月は便やだ液からウイルスが排せつされるが、発熱、のどの痛みがなくなり、食欲が戻って登園できるなら、プールもOK。
咽頭結膜熱(プール熱)	×	感染すると登園停止になり、登園には医師の「意見書」が必要。感染力が非常に強く、ゴーグルやタオルの共有でもうつるので要注意。
細菌性腸炎 (腸管出血性大腸菌感染症)	×	発病すると登園停止になり、登園には医師の「意見書」が必要。保菌者の便から感染することもある。この大腸菌は低温に強く、水の中で長く生存する。ごく少数の菌で感染してしまうので、水質管理が重要。
流行性角結膜炎 (はやり目)	×	感染すると登園停止。登園には医師の「意見書」が必要。感染力が強い。ゴーグルやタオルの共有でうつるので要注意。
とびひ	×	プールの水ではうつらないが、水ほうやびらんがあるときは、水中で皮膚がふやけると悪化しやすい。本人の皮膚の保護のために、プールは避ける。
急性中耳炎	×	症状がある間は、プールには入れない。
外耳炎	×	プールは避ける。傷が治り、外耳の炎症が治ればプールOK。
副鼻腔炎	×	鼻の奥の痛みや黄色い鼻水が出ている間は、プールは避けたほうがよいので、医師と相談を。